

事業区分
金銭給付

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名	商店街外国人観光客おもてなし支援					所管	文化産業観光部 産業振興課	
	行政計画	事業NO.	45	計画事業名	おもてなしの人づくり	事業の開始・終了年度		
事務事業の概要	長期総合計画体系	[基本目標] I-2. まちの魅力の創出					[事業開始] 平成27年度	
		[小 柱] (3)おもてなし環境の整備					[終了予定] 平成32年度	
		[施策] ②ふれあいとおもてなしの人づくり						
根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区商店街振興事業実施要綱、台東区商店街振興事業補助金交付要綱					
事業対象	商店街							
事業目的	東京オリンピック・パラリンピックの開催決定を機に、今後更なる増加が想定される外国人観光客に対応するため、商店街による外国人観光客に対する「おもてなし」の取り組みを支援することで、本区のおもてなし体制の向上を図ることを目的とする。							
事業内容	区内商店街が行う外国人観光客に対する「おもてなし」に関する取り組みに対して、経費の一部を補助する。 補助率:1/2(東京都が補助する場合は区と都を併せて5/6以内) 限度額:833万3千円 ※講演会・講習会事業 任意75万円、法人100万円、複数150万円 ※免税一括手続ステーションの設置 1,666万6千円(いずれも区・都併せた限度額)							
委託の有無	なし	委託内容						
補助金の有無	都							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	助成件数	件	6	5	7	12	
		(26年度までは既存事業のうち本事業に該当するもの)						
	成果指標							
	決算額	(単位:千円)						
	事務事業コスト	人にかかるコスト(人件費など)	(91,435)					
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)	(10,202)					
		その他のコスト(扶助費・補助費など)	(0)					
		総経費	(91,435)					
	財源項目	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)	(0)					
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)		(43,278)						
一般財源(区負担額)		(58,359)						
前回評価から改善した事項	外国人観光客に対する「おもてなし」の取り組みは、広域・観光型商店街だけでなく、日常の買い回り品を中心とする近隣型商店街も、近年はバックパッカーが増加しているため、商店街の地域特性に即して本事業の周知を図った。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、今後更なる外国人観光客の増加が想定される。その中で、商店街による「おもてなし」の取り組みは不可欠であり、積極的に支援を行う必要があるため。					
	効率性	3	他の補助事業同様、商店街が行う事業に対し、その事業経費の全額を補助するのではなく、一部を補助することによって、商店街の自主性を損なわず、最小限の経費で支援を実施するため。					
	手段の適切性	3	他の補助事業同様、補助事業の選定にあたっては、学識経験者・有識者・中小企業診断士等から構成される審査会で審査をしたうえでやっている。また、適宜指導・助言を行うことで、効果的な事業実施を図るため。					
	目的達成度	4	助成件数も年々増加し、商店街による外国人観光客に対する「おもてなし」の取り組みの向上につながっているため。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、更なる外国人観光客の増加が想定される中、商店街もおもてなし体制の向上を図る必要がある。今後とも、東京都と連携しながら、効果的・効率的に事業を進めていく。						維持		